

福島経済マンスリー

2月の県内経済は、生産活動が回復傾向にあり、持ち直しの動きが続いている。

1. 平成26年2月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動が回復傾向にあり、公共投資などの投資動向や消費動向が堅調に推移するなど、持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、スーパーが前年を上回ったものの、百貨店が前年を下回ったことから、合計では10ヵ月ぶりで前年比で減少した。一方、新車登録台数は、6ヵ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が3ヵ月ぶり、請負金額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回ったものの、保証金額は2ヵ月連続で前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月連続、床面積と工事費予定額が3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、合計で4ヵ月連続して前年を上回った。内訳をみると、持家が9ヵ月連続、貸家が3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回ったが、分譲は2ヵ月連続で前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比、前年比とも5ヵ月連続で増加した。業種別の前月比をみると、13業種で増加し、5業種で減少した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回り、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は5ヵ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は1月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		25年9月	10 月	11 月	12 月	26年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.5	2.8	1.6	1.5	1.7	△ 0.1
	乗用車新車登録台数	13.9	12.4	12.3	25.7	26.8	22.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	92.9	△ 12.3	47.3	△ 22.2	341.2	△ 18.2
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 46.4	△ 22.0	38.0	187.2	17.4	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	12.1	△ 15.1	8.0	45.5	18.7	44.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	4.8	4.4	5.9	10.5	14.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.22	0.21	0.17	0.14	0.11	0.12
	雇用保険受給者実人員	1.8	△ 1.7	△ 6.5	△ 3.9	△ 11.0	△ 11.6

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		25年9月	10 月	11 月	12 月	26年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 9.0	6.0	1.0	27.5	△ 19.1	△ 12.1
	乗用車新車登録台数	34.0	△ 13.8	6.9	△ 11.7	26.4	7.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	45.0	△ 54.2	14.5	△ 38.5	217.6	△ 75.6
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 13.0	42.2	△ 9.0	108.5	△ 48.3	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 6.8	△ 1.5	15.3	5.6	△ 29.2	60.8
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	6.0	0.6	2.7	2.5	4.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	△ 0.02	0.04	0.01	0.02	0.01	0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 5.7	△ 3.0	△ 10.1	△ 1.3	△ 1.4	△ 5.4

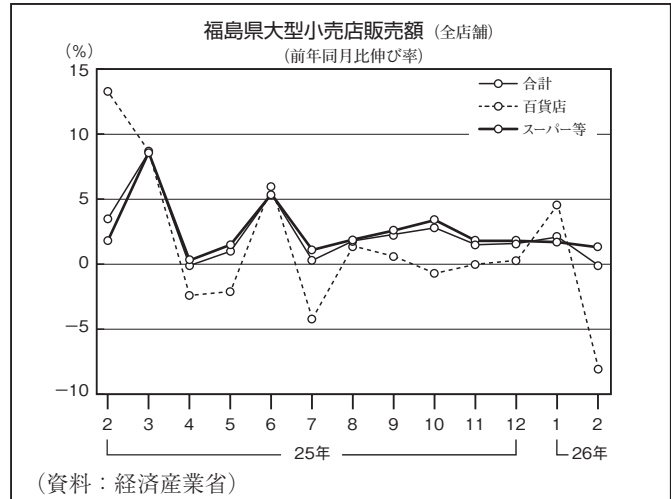
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

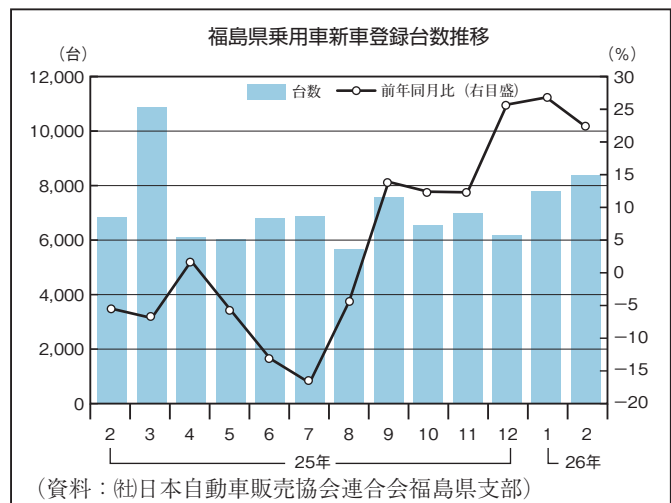
大型小売店：10ヵ月ぶりで前年比減

2月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で181億2百万円（前年同月比△0.1%）と10ヵ月ぶりで前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△8.1%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったため、合計では同+1.4%となった。



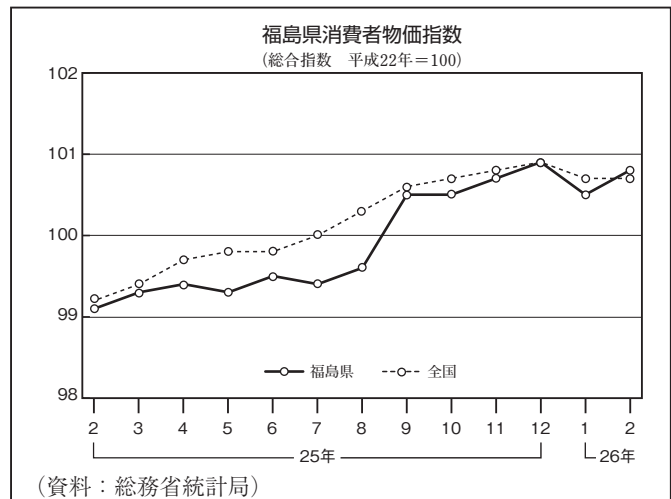
乗用車販売：6ヵ月連続で前年比増

2月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で8,377台（前年同月比+22.3%）となり、6ヵ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車は2,588台（同+36.7%）、小型車は2,376台（同+7.8%）とともに6ヵ月連続、軽乗用車が3,413台（同+24.1%）と7ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



消費者物価指数：前年比、前月比とも上昇

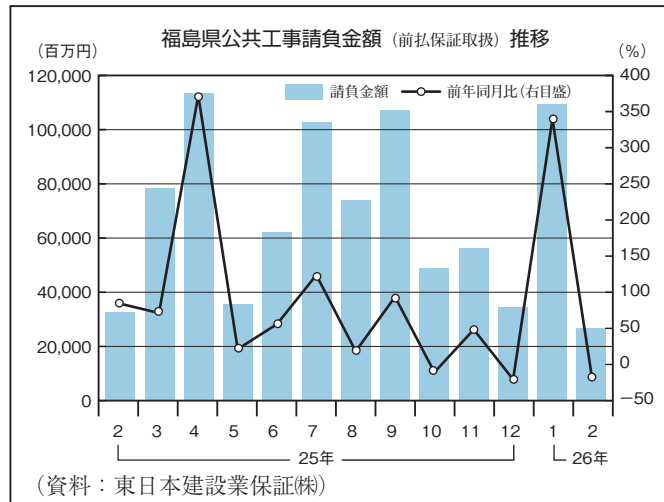
2月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、100.8と前月比で+0.3%、前年同月比では+1.8%となった。費目別にみると、「被服及び履物」の94.9（前月比△1.6%）など2費目が前月比で下降したが、「住居」の100.4（同+0.7%）など5費目が前月比で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比減

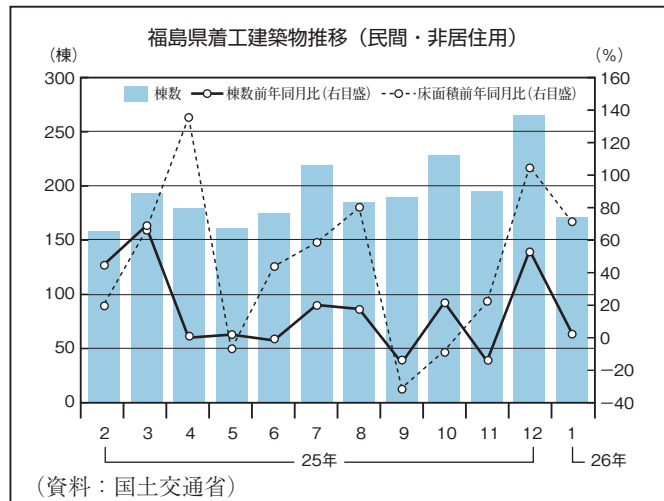
2月の公共工事前払保証取扱は、件数が376件（前年同月比△10.6%）と3ヵ月ぶり、請負金額は266億77百万円（同△18.2%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。一方、保証金額は122億94百万円（同+311.8%）と2ヵ月連続で前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3ヵ月連続で前年比増

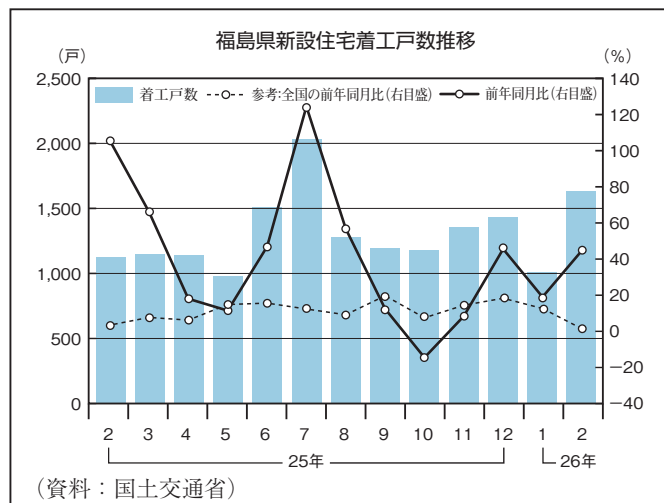
1月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が171棟（前年同月比+2.4%）と2ヵ月連続、工事費予定額が144億60百万円（同+17.4%）、床面積が130,101㎡（同+71.5%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：4ヵ月連続で前年比増

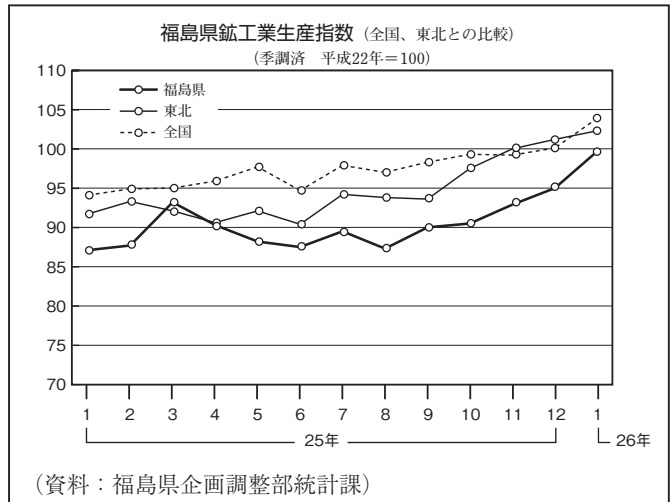
2月の県内新設住宅着工戸数は、1,631戸（前年同月比+44.6%）と4ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が659戸（同+15.2%）と9ヵ月連続、「貸家」は874戸（同+140.1）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回ったが、「分譲」は90戸（同△48.9%）と2ヵ月連続で前年を下回った。



生産活動

鉱工業生産指数：5ヵ月連続で前年比増

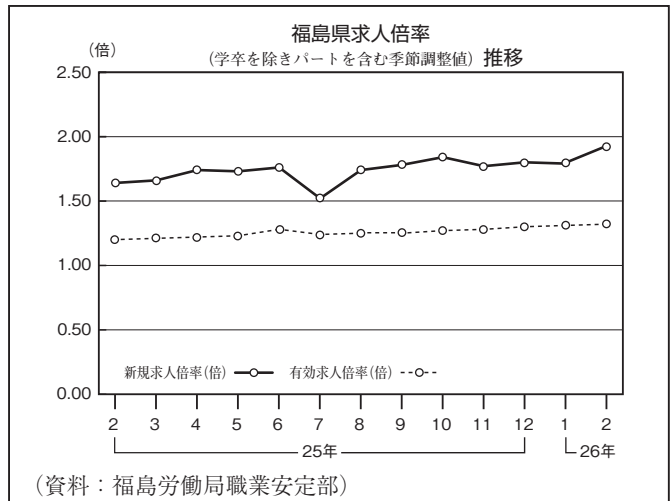
1月の鉱工業生産指数は、99.7（季節調整値）で前月比+4.9%と5ヵ月連続で前月を上回るとともに、原指数が91.4で前年同月比+14.4%と5ヵ月連続で前年を上回った。業種別の季節調整値をみると、「木材・木製品工業」（前月比+33.5%）など13業種で上昇し、「非鉄金属工業」（同△19.9%）など5業種で下降した。※福島県では、調査対象企業のうち、震災の影響により調査できない約3%の企業の生産額は0として処理している。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は47ヵ月連続前年比増

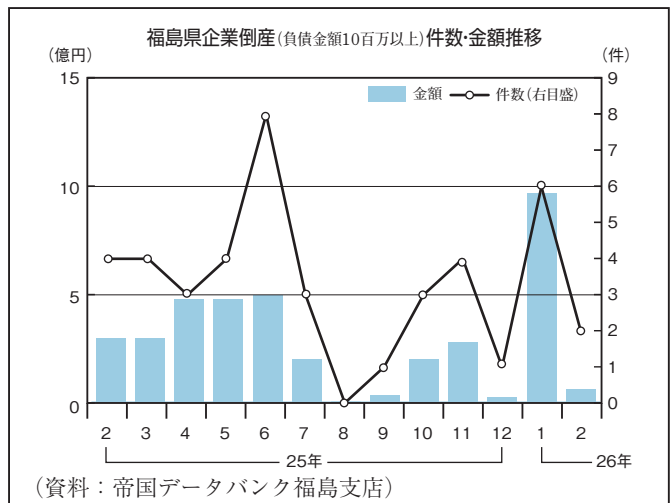
2月の新規求人倍率は、季節調整値が1.92倍（前月比+0.13ポイント）、原数値が1.90倍（前年同月比+0.24ポイント）となった。また、2月の有効求人倍率は、季節調整値が1.32倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.36倍（前年同月比+0.12ポイント）と47ヵ月連続で前年を上回った。一方、2月の雇用保険受給者実人員は6,669人（前年同月比△11.6%）と5ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：前年比で件数、負債額とも減少

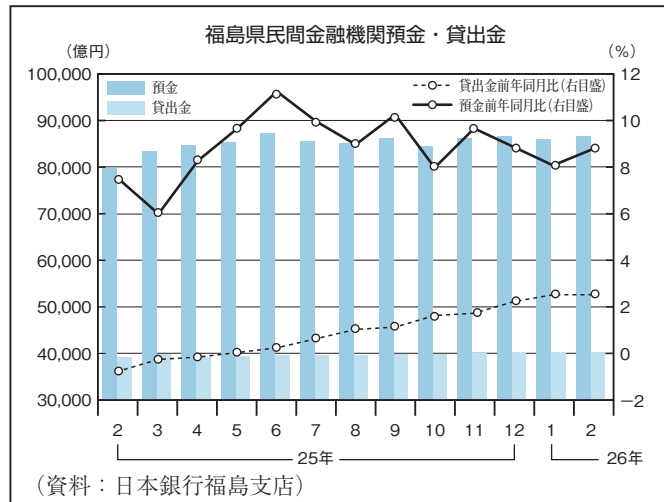
2月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が2件（前年同月比△50.0%）、負債総額が48百万円（同△85.9%）となり、件数、負債総額とも前年を下回った。業種別では、建設業が2件となった。



金融動向

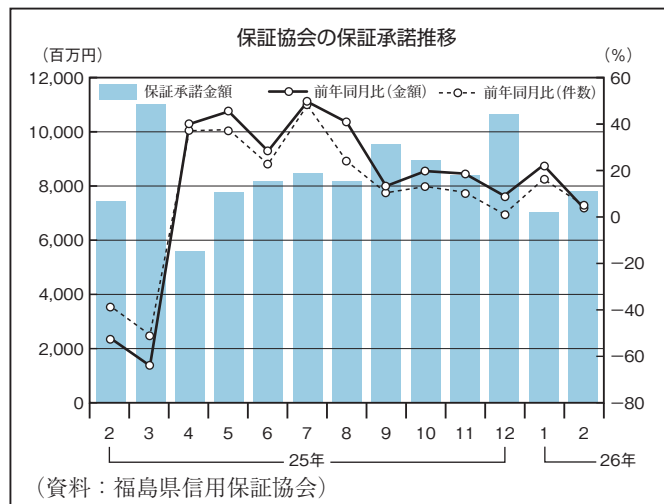
資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の2月末の預金残高は、8兆6,917億円（前年同月比+8.8%）と84ヵ月連続、貸出金残高は、4兆186億円（同+2.5%）と9ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

2月の保証承諾は、件数が762件（前年同月比+5.5%）、保証金額が77億94百万円（同+4.4%）となった。また、2月末日現在の保証債務残高は、件数48,357件（同△2.1%）、金額4,387億41百万円（同△7.2%）となった。一方、2月中の代位弁済は、件数が39件（同0.0%）、金額が4億92百万円（同+17.6%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 2月の家電量販店の売上高は、消費増税前の駆け込み需要もあり、エアコンや冷蔵庫、洗濯機、パソコンなどが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 2月のホームセンターの売上高は、エクステリアなどが前年を上回ったものの、家電製品やレジャー用品などが前年を下回ったことから、合計では前年をわずかに下回った。

旅行 1月の旅行取扱額は、国内旅行が前年を下回ったものの、海外旅行が個人、団体向けとも前年を上回ったことから、合計では前年実績を10%程度上回った。

高速道路 2月の県内自動車道出入台数は、合計で4,009,634台（前年同月比△4.8%）と、大雪による通行止めの影響から、11ヵ月ぶり前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,228,391台（同△4.0%）と11ヵ月ぶり、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は933,200台（同△3.6%）と10ヵ月ぶり、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は342,593台（同△6.1%）と2ヵ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は505,450台（同△9.4%）と3ヵ月連続でいずれも前年を下回った。

福島空港 2月の福島空港国内定期路線の利用状況は、15,320人（前年同月比+7.5%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は6,403人（同+2.6%）、大阪便は8,917人（同+11.4%）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 2月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要が振るわないものの、国内需要が堅調であることから、前年並みの生産水準を確保している。一方、高機能樹脂は、国内の自動車向けの受注が堅調なことから、前年を上回る生産となっている。

鉄鋼・金属 2月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年を5%ほど上回る水準となった。また、半導体向け電子材は、新興国の製品との競合が続いているものの、円安効果もあり、前年を50%以上上回る生産を確保した。建機用鋳造品は、中国やオーストラリアを中心に海外からの受注が減少したことから、合計で前年を50%以上下回る生産となった。陸船用バルブは、需要の低迷と中国などの低価格品との競合が続いており、前年を10%ほど下回る生産となった。

輸送用機械 2月の鋳造品は、トラック向けがタイの需要に不透明感が始めていることなどから、合計ではほぼ前年並みの生産となった。一方、オイルシールは、東南アジアを中心に需要が上向いてきたことや円安効果などにより、輸出が増加したことなどから、前年を5%ほど上回る生産となった。

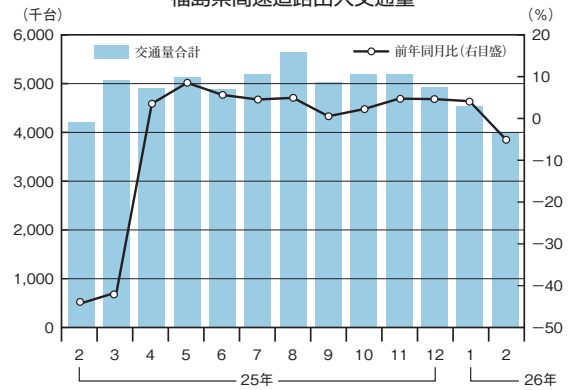
電気機械 2月の電気機械は、配電盤や変圧器、誘導炉などが、いずれも前年を下回ったことから、合計では前年を15%ほど下回る生産となった。

情報通信機械 2月の情報通信機械は、マイクロ波通信機器などの無線通信機器でインドを中心とした海外からの受注が減少しているものの、国内向けモバイル基地局の生産が堅調だったことなどから、合計では前年を30%以上上回る生産となった。

電子部品・デバイス 2月のLSI（大規模集積回路）の生産は、半導体の需要に不透明感が続いており、前年を20%以上下回った。

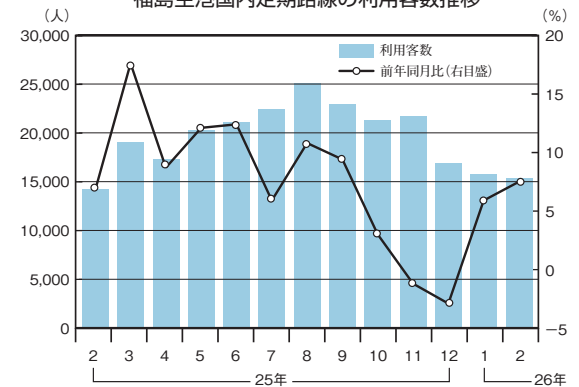
精密機械 2月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なこと

福島県高速道路出入交通量



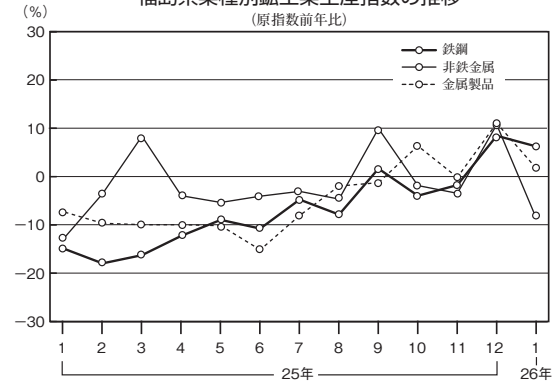
(資料：東日本高速道路㈱東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



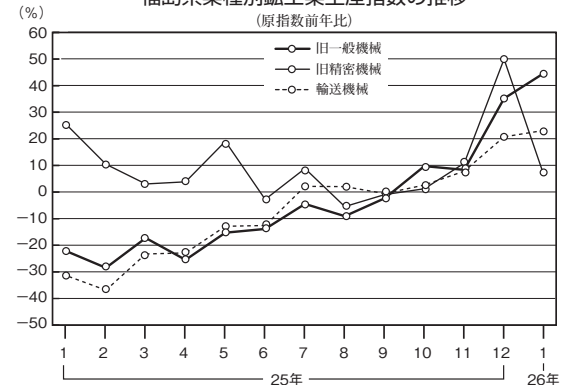
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

から、合計でも前年並みの生産水準を確保した。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、新製品の増産や国内およびアメリカの需要が上向いてきたことなどから、ほぼ前年と同水準の生産となった。

紙・紙加工品 2月の製紙は、円安を背景とした輸出の増加により、感熱紙の生産が引き続き堅調だったが、インクジェット紙やノーカーボン紙が前年を下回る生産となり、合計では前年並みの生産水準に止まった。

窯業・土石 2月の生コンクリート出荷量は、全体で132,663m³（前年同月比△3.9%）と31ヵ月ぶりで前年を下回った。地区別にみると、相双（同+23.9%）といわき（同+3.1%）が前年を上回ったものの、残りの4地区が前年を下回ったことから、合計でも前年を下回った。

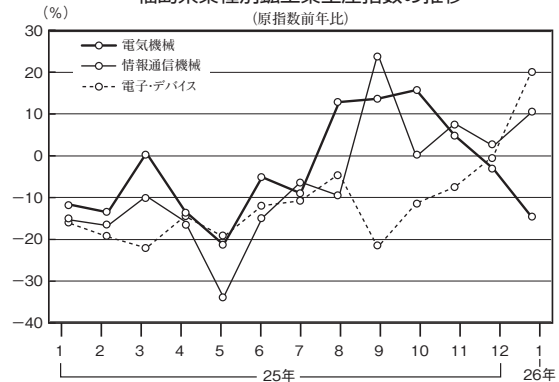
清酒 2月の清酒移出数量は、1,011kl（前年同月比△9.0%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が429kl（同△4.9%）、一般酒（特定名称酒以外の酒）が582kl（同△11.8%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を下回った。

化合繊維物 2月の化合繊維物は、出荷数量が前年比で10%以上減少したものの、単価の高い製品に生産をシフトしていることから、売上高は前年を上回った。

ニット 2月のニットは、春夏物商品と秋冬物サンプルの生産が本格化しているなか、既取引先からの受注量が減少したことから、前年を40%ほど下回る生産となった。

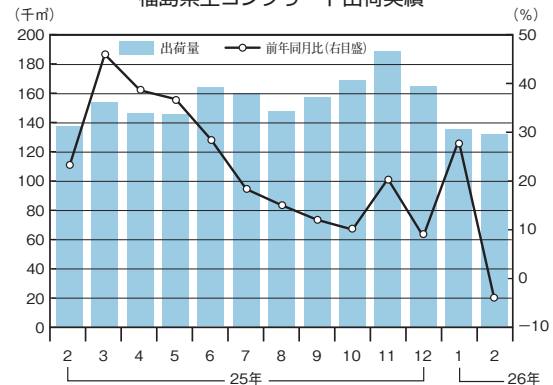
大口電力 2月の大口電力販売量は、442百万kw/h（前年同月比+4.3%）と5ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で91百万kw/h（前年同月比+15.2%）、「電気機械」で69百万kw/h（同△3.7%）、「輸送用機械」で55百万kw/h（同+4.2%）、「化学」で41百万kw/h（同+0.5%）、「一般機械」で25百万kw/h（同+3.3%）、「紙・パルプ」で16百万kw/h（同+11.7%）となっている。

福島県業種別鉱工業生産指数の推移



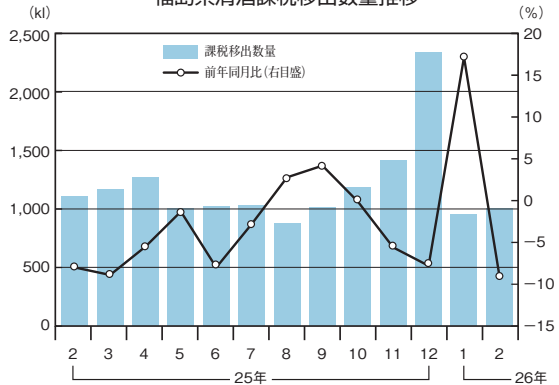
(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県生コンクリート出荷実績



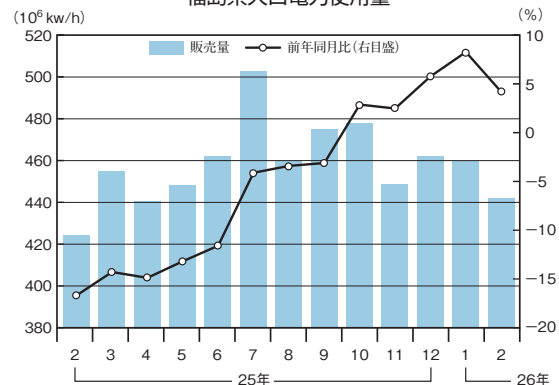
(資料：福島県生コンクリート工業組合)

福島県清酒課税移出数量推移



(資料：福島県酒造組合)

福島県大口電力使用量



(資料：東北電力福島支店)